

IBM TS4300 テープ・ライブラリー

安全な長期データ保管をサポートする、拡張性が高いテープ・ライブラリー

ハイライト

- 1台の 3U 基本モジュールと最大 6 台の拡張モジュールをすべて同じラックに搭載し、必要に応じてテープ・ストレージ容量を拡張
 - 安全な長期データ保管により、コンプライアンス要件に対応
 - インストールと管理を簡単にするストレージソリューションを導入
 - エラー・リカバリーと報告、ライブラリーのヘルス・モニターと自動リカバリーにより、データ保管の問題を迅速に修正
 - 高密度ソリューションで、データセンターの保管スペースや関連設備のコストを削減
-

一般的な安全な長期データ保存に対する要求は、金融サービス、医療、ライフサイエンスの業界において、ますます厳しさが増えています。その結果、データ・ボリュームが大量に増えていますが、テープ・ストレージはディスク・ドライブやフラッシュよりもコストの低い長期保管オプションを提供します。その上、テープに保管されているデータをオフラインのままにするか、あるいは、Write Once Read Many (WORM) メディアに保管するとハッキングの影響をほぼ受けません。その点で IBM® TS4300 テープ・ライブラリーは、データを安全に長期保管すると同時に、データセンターのスペースや設備に関連したコストの削減に役立つ、拡張が容易で管理しやすい高密度テープ・ライブラリーといえます。

モジュール式の設計により、ユーザーは必要に応じてカートリッジとドライブの容量を増やすことができます。TS4300 は、3U サイズのベース・ライブラリーを中心に、Linear Tape-Open (LTO) Ultrium カートリッジ、ドライブ、冗長電源機構を搭載する拡張モジュールによって、最大 7 台のモジュール (ベース・ライブラリーを含む) まで拡張できます。また、1 つのロボットで、スタック内のすべてのモジュールを管理します。

7 台のモジュールから成る構成で、TS4300 は、270 個を超える LTO カートリッジの容量を提供します。インストールと構成用のウィザードを使用すると、特別なトレーニングをすることなく、ユーザーはライブラリーのインストール、拡張、保守を行うことができます。

TS4300 は、セキュリティとコンプライアンスの要件へ対応するため、WORM カートリッジをサポートしてデータ保護を強化し、IBM Security Key Lifecycle Manager でライブラリー管理の暗号化を提供します。

また、自動の制御バスやデータ・バス・フェイルオーバーのような、IBM TS4300 テープ・ライブラリーでサポートされる機能で事業継続性を向上させて、ホスト・アダプターや制御バスが失われた場合に自動制御を行います。

ベース・ライブラリーから開始

TS4300 ベース・ライブラリーには、ベース・ライブラリー・システムの管理に必要なロボット装置と制御装置がすべて組み込まれています。そして、モジュール当たり最大 40 スロットの LTO カートリッジ容量、最大 5 つの入出力 (I/O) スロットを収容でき、フルハイト (FH) またはハーフハイト (HH) LTO ドライブの 3 つの組み合わせをサポートします。なお、TS4300 ベース・ライブラリーは、ラックまたはテーブルトップに取り付け可能 (拡張モジュールはラック取り付けのみが可能) です。



保管データの迅速な検出

TS4300 は、IBM Spectrum Archive を利用して、IBM Linear Tape File System (LTFS) 形式の標準を組み込んで、IBM テープ・ドライブとライブラリーに保管されているデータへの直感的かつグラフィカルな直接アクセスを行います。LTFS の互換性により、テープに保管されているデータが、ディスクやフラッシュ・ストレージにあるかのようにアクセスできます。

テープ・ストレージのシンプルな導入と管理

TS4300 は、組み込み型のオープン・ソース・ソフトウェア・アーキテクチャーに基づいて、迅速な導入とシンプルな管理を実現します。先進のエラー・リカバリーと報告、ライブラリーのヘルス・モニターとアラート、および自動リカバリーの機能が、迅速な診断と解決に役立ちます。Automation Drive Interface は、ドライブ通信速度を大幅に上げて、コード更新とログのダウンロードを高速化します。



IBM TS4300 テープ・ライブラリー

IBM は、単一の TS4300 ライブラリーの機能を強化するために、TS4300 用の多様な管理ソフトウェア・ソリューションを提供しています。このライブラリー・ソフトウェアには、IBM ソフトウェアの統合を容易にするアプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) フックが組み込まれています。

管理ソフトウェア・オプション

IBM Spectrum Archive	<ul style="list-style-type: none"> LTO Ultrium 8、7 および 6 テープ・ライブラリー・システムのユーザーは、カートリッジのインベントリーを作成して、任意のカートリッジ上でデータの読み取り/書き込みと検索を実行可能 メタデータの書き込み、個々のファイルのタグ付けを可能にして、カートリッジに保管されたファイルに容易かつ迅速にアクセス
IBM Spectrum Protect	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーは、アーカイブの作成、管理、最適化が可能 コンテンツの並行コピーの管理に加えて、アクティブ、非アクティブ、オフサイトのコンテンツの管理を提供
IBM Security Key Lifecycle Manager	<ul style="list-style-type: none"> 管理する暗号鍵の数を大幅に削減しながら、データ・セキュリティを強化 直感的なユーザー・インターフェースによって構成・管理することで、暗号鍵の管理を簡素化 機密情報の消失または侵害のリスクを最小限に抑制

IBM TS4300 テープ・ライブラリーの構成

	最小構成 - 基本モジュール	最大構成 - 6 台の拡張モジュールを備えた TS4300 基本モジュール
LTO Ultrium カートリッジ容量	32	272
入出力スロットのカートリッジ数の減少	0 または 4	0 から 34
テープ・ドライブ数 (最大)	1 FH LTO、3 HH LTO、または 1 FH と 1 HH LTO	7 FH LTO または 21 HH LTO HH/FH ドライブ混合範囲 19/1 または 7/7
総物理容量 (最大)	384 TB	3.264 PB
論理ライブラリー数	ドライブ数まで	ドライブ数まで

TS4300 テープ・ライブラリーの概要

フォーム・ファクター	3U
物理容量	12 TB ネイティブ容量/最大 30 TB の圧縮容量 (LTO Ultrium 8) 6 TB ネイティブ容量/最大 15 TB の圧縮容量 (LTO Ultrium 7) 2.5 TB ネイティブ容量/最大 6.25 TB の圧縮容量 (LTO Ultrium 6)
ネットワーク・インターフェース	イーサネット
電源機構	1 台の電源機構を標準装備、オプションで 2 台目の冗長電源機構
ホットスワップ対応コンポーネント	電源、テープ・ドライブ
システム管理	Storage Management Initiative Specification (SMI-S) 対応
対応オペレーティング・システム	IBM 製サーバーの一部と Linux、Windows などのオープン・システム・サーバーが選択可能
保証	一部パーツの 3 年間保証
重量	基本モジュール 28 kg (最大) 拡張モジュール 22.6 kg (最大)
寸法 (高さ×幅×奥行き)	114 mm × 446 mm × 873 mm
エネルギー消費効率 [※]	N/A

※ エネルギー消費効率とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律 (昭和 54 年法律第 49 号、以下「省エネルギー法」という) で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。ただし、複合理論性能が 200,000MTOPS 以上のものについては省エネルギー法対象外装置であり、掲載のエネルギー消費効率は参考値となります。

IBM をお勧めする理由

IBM Storage ソリューションは、テープを基にしたストレージ・テクノロジーを提供してきた 60 年を超える実績があり、今日では一般的になってきた莫大な量のデータを管理するのに必要な拡張容易性、セキュリティー、使いやすさを提供します。TS4300 テープ・ライブラリーが提供する拡張性が高いモジュール式オプションは、データ保管要求の拡大にともない拡張ができます。そのため、よりコストのかかるほかのストレージ・オプションを管理するのに必要なデータセンターのスペースや関連設備の追加コストがかかりません。

詳細情報

IBM TS4300 テープ・ライブラリーの詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。
ibm.com/jp-ja/marketplace/ts4300



© Copyright IBM Corporation 2017

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
October 2017

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Spectrum Archive、IBM Spectrum Protect、および Linear Tape File System は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、
ibm.com/legal/copytrade.shtml

Linear Tape-Open、LTO、および Ultrium は、HP、IBM Corp. および Quantum の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

実際に使用可能なストレージ容量は、データが展開されているか圧縮されているかにより変動するため、記載された値よりも小さくなる場合があります。



Please Recycle